

棚倉町の人々の思いにふれて

近津小学校 6年 かなざわ はるな
金澤 暖奈

私は、去年と今年、チャレキッズイン棚倉に参加し、様々なことを学ぶことができました。チャレキッズに参加すると決まった時、私は父にもどんな仕事をしているのか聞いてみました。私の父は、水郡線や電車の遮断機を作る会社に勤めています。棚倉町にある遮断機は全部父の会社で作ったものだと聞いて、私はおどろきました。父の会社では、町のみんが安全に生活するための細かい作業をしていると聞きました。私は、棚倉町で働く人々はどのような思いで、仕事をしているのか考えてみたいと思うようになりました。

私は、今年の夏休みに行われたチャレキッズイン棚倉で2つの事業所さんで体験をさせていただきました。

初めに行った大梶食品さんでは、豆腐作りの体験をしました。豆腐作りは、豆乳の温度を細かく管理したり、町のみなさんにおいしく食べてもらえるように、いろいろな味の豆腐を作ったりしていることが分かりました。心をこめてていねいに作ることで、町の人においしい豆腐が届けられるのだなと思いました。私も、何かを作る時、手を抜かずに最後までていねいに作り、相手に喜んでもらえるようにしたいなと思いました。

もう一つの事業所は、夕刊たなぐらさんです。夕刊たなぐらさんでは、丁寧に印刷したり、棚倉町のみなさんに身近な話題をいち早く伝えるための取材ができるようにしたりして、様々な工夫をしていることが分かりました。

私も、実際に町長さんにインタビューをする機会をいただくことができました。町長さんにインタビューすると聞いて、初めは、とても緊張して、「うまく聞けるかな。」と少し心配になりました。

「いつもどのような仕事をしていますか。」と町長さんに質問したところ、
「町の人を楽しめるようなイベントをつくったり、考えたりしています。」

と答えてくださいました。実際に町長さんにインタビューをしてみると、優しくお話ししてくださいだったので、ほっとした気持ちになりました。町長さんが、町の人々のために、力をつくってくださっているということを感じました。私たちがいつも楽しんでいる町の行事の裏では、いろいろな企画を考え、実際に運営して下さる人々がたくさんいることを知り、あらためて、感謝の気持ちがわいてきました。取材をし、記事をまとめる作業を見て、とても大事な仕事だなと思い、こうして、夕刊たなぐらさんのおかげで、町の人がたくさん情報を得ることができることを知りました。夕刊たなぐらさんが、昭和28年から棚倉町の人々のよさを伝え続けてきたことは、本当に素晴らしいことだなと思いました。

つい先日は、私たちの学校のすぐ近くにある八槻都々古別神社で、長い歴史について学ぶ機会がありました。古くから伝わる神社の歴史について学び、これまで受け継がれてきた物や思いにふれることができました。現在も、地域の方々のボランティアにより、神社が守られています。次の世代へと受け継がれるように、地域のみなさんの思いがとても強いきずなで結ばれているのだなと感じました。

私はこの2年間で、様々な体験を通して、棚倉町にたずさわるたくさんの方々の思いを知ることができました。私も将来この棚倉町で、町のみなさんが幸せに暮らせるような仕事がしたいと思っています。その夢に向かって、今から精一杯勉強をがんばりたいです。そして、棚倉町の歴史や文化についてもっと調べたり、棚倉町の様々な行事に参加し、町のよさを多くに人

に伝えたり、広めたりしていきたいと思います。